

2023年12月1日

Chance地銀共同化行による「ストラクチャードファイナンス等推進協議会」の設立について ～Chance地銀共同化行連携施策～

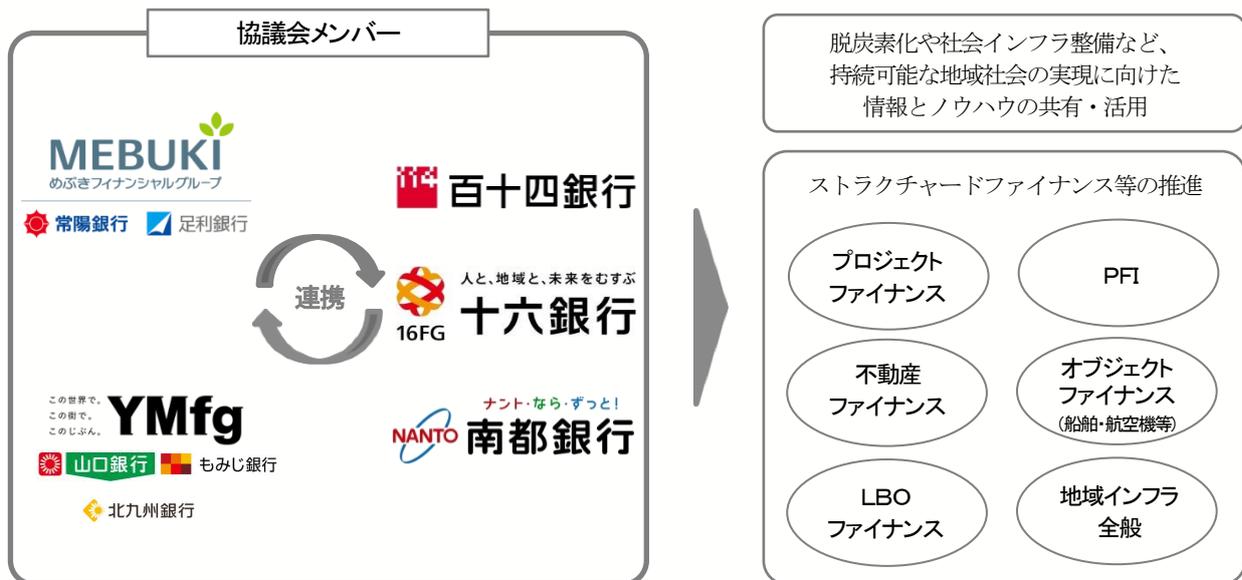
株式会社南都銀行（頭取 橋本 隆史）は、「Chance地銀共同化行^{※1}」に参加する、株式会社足利銀行（頭取 清水 和幸）、株式会社十六銀行（頭取 石黒 明秀）、株式会社常陽銀行（頭取 秋野 哲也）と株式会社百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）、株式会社山口フィナンシャルグループ（社長 棕梨 敬介）とともに、「ストラクチャードファイナンス等推進協議会」（以下、「協議会」）を構築し、持続可能な地域社会の実現に向けたインフラストラクチャーやファイナンス手法の共同研究やストラクチャードファイナンス案件等の相互連携に取り組む方針としましたので、下記のとおりお知らせいたします。

※1 三菱UFJ銀行の勘定系・情報系などの基幹システムを基に構築した「Chance地銀共同化システム」を共同利用する地銀の広域連携。現在、足利銀行、十六銀行、常陽銀行、百十四銀行、山口フィナンシャルグループ、当行が参加しています。

記

1. 協議会の概要

Chance地銀共同化行に参加する銀行・グループ（以下、「共同化行」）が連携し、脱炭素社会の実現や社会インフラ整備に関する情報とノウハウを共有・活用することで、持続可能な地域社会の実現に資するストラクチャードファイナンス案件等の推進に取り組みます。



【本件に関するお問合せ先】 法人ソリューション部 平野・植野
経営企画部(広報) 古賀・甲村

TEL：0742-27-1558

TEL：0742-27-1599

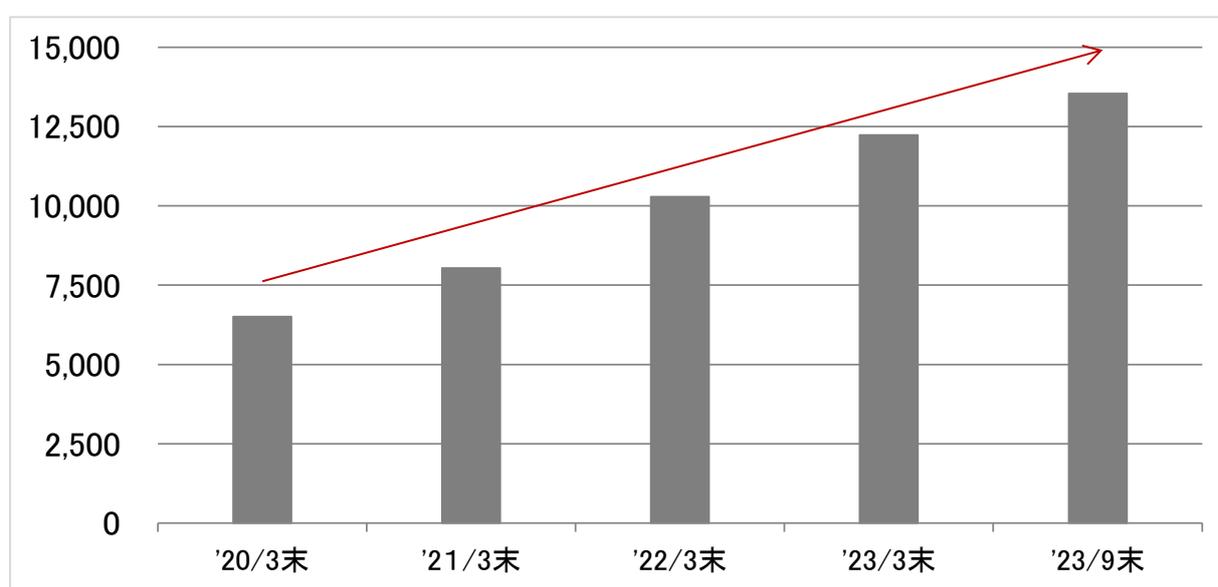
2. 設立の背景・目的

共同化行では、2015年12月に「地域インフラ推進協議会」を設立し、再生可能エネルギーなど地域経済の活性化に資するインフラ投資・ファイナンス手法にかかる情報とノウハウの共有等を通じ、ストラクチャードファイナンスを推進してまいりました。2023年9月末時点の *Chance* 地銀共同化行におけるストラクチャードファイナンス残高の合計は1兆3千億円となっております。

今般、共同化行では、これまでの取組の一層の強化に向け、地域インフラ推進協議会の枠組を拡大し、さらに2017年4月に *Chance* 地銀共同化行に新規加盟した足利銀行を加えて、新たに「ストラクチャードファイナンス等推進協議会」を設立し、地域インフラ推進協議会の機能を吸収させることとしました。

当行は、今後とも、ストラクチャードファイナンス等への取り組みを通じ、社会的価値と経済的価値の創造に取り組み、持続可能な地域の成長・発展に貢献してまいります。

【*Chance* 地銀共同化行のストラクチャードファイナンス残高^{※2}の推移】（単位：億円）



※2 *Chance* 地銀共同化行におけるエネルギー、船舶、航空機、不動産、LBO、PFI に関するストラクチャードファイナンス残高の合計

【Chance 地銀共同化行のカバーする地域】

は Chance 地銀共同化行の
営業拠点がある都道府県

